

平成 20 年 8 月
気象庁地震火山部

岩手県沿岸北部を震源とする地震時における
緊急地震速報の利活用状況に関する調査 【調査票B】

本調査は、本年 7 月 24 日に発生した標記地震の際に、施設管理者であった方、あるいは緊急地震速報の利活用（例えば、館内放送や機械の制御等）を担当されていた方に回答していただくようお願いします。

回答方法は、それぞれ該当する選択肢に○を付け、自由記入欄には該当する内容を簡潔にご記入ください。

※この用紙は、7 月 24 日に発生した岩手県沿岸北部の地震についてご回答いただくものです。

「平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震」については【調査票 A】をご使用下さい。

最初に、基本的な内容についてお尋ねします(問1～問4)。

※なお、「調査票A」と質問内容が一部重複しておりますが、集計の都合上、全てご回答下さい。

【名称、活用場所】

問1 貴機関の名称と所管省庁、及び緊急地震速報の利活用場所(市区町村名まで)をお教えてください。

機関名称： _____ (所管省庁名： _____)

活用場所： _____

【利活用の程度】

問2 貴機関は、「岩手・宮城内陸地震」発生後～岩手県沿岸北部の地震の発生前の時点で、緊急地震速報をどの程度利活用しようと考えていましたか。

① マニュアルを作成して積極的に利活用する

② できるだけ利活用する

③ 利活用しない その理由：ア)機器の導入費用が高額 イ)効果が不明確

ウ)利活用方法が分からない

エ)その他 _____

④ 決めていない その理由： _____

⑤ その他： _____

【利活用目的】

問3 貴機関は、「岩手・宮城内陸地震」発生後～岩手県沿岸北部の地震の発生前の時点で、緊急地震速報を具体的にどのような目的で利活用しようと考えていましたか。

【調査票B】 平成 20 年 7 月 24 日岩手県沿岸北部の地震

- ① 列車やエレベーター等の設備・機器の制御（下記のア）またはイ）を選択）
ア）自動で制御 イ）手動で制御（制御の指示も含む）
- ② 館内放送・LAN等による施設内への報知・伝達（下記のア）またはイ）を選択）
ア）自動で放送等を実施 イ）手動で放送等を実施
- ③ 上記以外の方法による人の安全の確保
- ④ 不明
- ⑤ その他： _____

【専用端末の設定内容、実際の結果】

問4 **緊急地震速報の受信用の専用端末をお持ちの方にお尋ねします。**専用端末等の基本情報、設定内容と、岩手県沿岸北部の地震発生時における実際の結果をお教えてください。

基本情報：

- ① 配信事業者名： _____
- ② 機器メーカー名： _____
- ③ 機器の名称・型式： _____

設定内容：

- ① 特に設定していなかった（発表された全ての速報について制御や報知等を行う）
- ② 以下のように設定していた
予測震度： _____ 以上で制御や報知等を行う
猶予時間： _____ 秒以上の猶予時間がある場合に制御や報知等を行う
- ③ 不明
- ④ その他： _____

実際の結果（岩手県沿岸北部の地震発生時）：

- ① 緊急地震速報を受信し、正常に処理（震度の予測や猶予時間の算出など）をした
予測震度： _____
猶予時間： _____ 秒
- ② 緊急地震速報を受信できなかった
- ③ 緊急地震速報を受信できたが、正常に処理できなかった
- ④ 不明
- ⑤ その他： _____

次に、岩手県沿岸北部の地震発生時の状況についてお尋ねします（問5～問14）。

【入手状況】

問5 緊急地震速報をどのような方法で入手しましたか。

- ① 専用端末で独自に入手した

【調査票B】 平成 20 年 7 月 24 日岩手県沿岸北部の地震

- ② テレビ、ラジオ、携帯電話、防災行政無線、館内放送等の間接的な方法で入手した

放送局等の名称： _____

テレビの場合：

ア) 地上デジタル イ) 地上アナログ ウ) BS デジタル エ) BS アナログ

- ③ その他の方法で入手した

入手方法： _____

- ④ 入手できなかった

理由： _____

→④を選択された方は、理由を記入後、問 14 へ

【利活用状況】

問6 緊急地震速報は、適切に利活用できましたか。

- ① 適切に利活用できた

具体的な内容： _____

- ② 適切に利活用できなかった

理由：

ア) 専用端末や自動制御する装置が正常に動作しなかった

イ) マニュアルどおりの作業ができなかった

ウ) マニュアルどおりの作業ができたが、猶予時間が足りなかった

エ) マニュアルどおりにできた上、猶予時間もあつたが、作業に時間がかかった

オ) その他： _____

- ③ 利活用しなかった

- ④ その他： _____

【緊急地震速報を聞いた際の第一印象、猶予時間】

問7 緊急地震速報を入手した際どう思いましたか。

- ① 強い揺れが来ると思った

- ② 揺れが来るとは思ったが、強い揺れが来るとは思わなかった

- ③ 何かの間違いだと思った

- ④ 何がなんだかわからなかった

- ⑤ その他： _____

問8 揺れが来るまでの猶予時間がありましたか？

- ① 間に合った →速報を入手した _____ 秒程度後に揺れ始めた

- ② ほぼ同時だった

- ③ 間に合わなかった →速報を入手する _____ 秒程度前に揺れ始めた

- ④ その他： _____

【調査票B】平成20年7月24日岩手県沿岸北部の地震

【集客施設における来客者等への周知・伝達】

問9 集客施設(駅・空港、病院、学校、宿泊施設その他多くの一般人が出入りする施設をいいます。以下同じ。)の関係者の方にお尋ねします。緊急地震速報を入手した際、館内放送や大声でお知らせする等により、来客者、患者、生徒など、職員以外の方々に速報の内容を周知・伝達しましたか。

- ① 予定通り周知・伝達した
- ② 周知・伝達する予定だったが、しなかった(できなかった)

理由： _____

- ③ 周知・伝達する予定がなかったため、しなかった

【集客施設等における混乱の有無】

問10 集客施設の関係者の方にお尋ねします。館内放送等以外でも、来客者等はロビーのテレビや携帯電話等で緊急地震速報を知ることが可能です。緊急地震速報を知った来客者等によって、何らかの混乱は発生しましたか。

- ① 混乱はなかった

② 混乱があった 内容： _____

- ③ 分からない

④ その他： _____

【自動車等における混乱の有無】

問11 警察・道路管理・運輸業界の関係者の方にお尋ねします。緊急地震速報を知った運転者が急ブレーキをかける等による混乱や事故は発生しましたか。

- ① 特に混乱はなかった

② 多少混乱はあったが、交通事故には至らなかった

③ 事故が発生した 事故の内容： _____

④ その他： _____

【列車やエレベーター等の制御による混乱の有無】

問12 集客施設・運輸業界の関係者の方にお尋ねします。緊急地震速報を受信し、列車やエレベーター等の乗り物を制御したことにより、それに乗っていた人が戸惑ったり、あわててけがをする等の混乱や事故は発生しましたか。

- ① 制御をしなかった

② 制御はしたが、特に混乱はなかった

③ 制御によって多少混乱はあったが、事故には至らなかった

④ 制御によって、事故が発生した 事故の内容： _____

⑤ その他： _____

【工場や建築・工事現場等における混乱の有無】

問13 製造業・建設業など工場や作業現場を有する業界関係者の方にお尋ねします。工場や各現場で緊急地震速報を受信し、館内放送や機械の制御等により職員の身の安全を図ろうとした際に、混乱や事故は発生しましたか。

- ① 館内放送・機械制御等を行わなかった

② 館内放送・機械制御等を行ったが、特に混乱はなかった

③ 館内放送・機械制御等によって多少混乱はあったが、事故は発生しなかった

【調査票B】平成20年7月24日岩手県沿岸北部の地震

- ④ 館内放送・機械制御等によって事故が発生した 事故の内容： _____
- ⑤ その他： _____

【未入手の場合の対応】

問14 問5で④(入手できなかった)と回答された方にお尋ねします。今回、緊急地震速報が入手できない状況でしたが、揺れが来たときにどのような行動をとりましたか。

- ① マニュアルに従い、制御や館内放送等の所定の作業を行った。
具体的に： _____
- ② マニュアルはあったが、所定の作業はできなかった
理由： _____
- ③ マニュアルはなかったが、身の安全を確保した
具体的に： _____
- ④ マニュアルもなく何もできなかった
- ⑤ その他： _____

最後に、緊急地震速報に関する全般的な事項についてお尋ねします(問15～問19)。

【緊急地震速報の認知度】

問15 緊急地震速報は、地震発生直後に、震源近くで地震波(P波)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを計算し、主要動(S波)による強い揺れが各地に来る前にお知らせするものです。このため、震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。また、予測震度には±1程度の誤差を伴います。

- ① これらのことを全て知っていた
- ② これらのいくつかは知っていた
- ③ 名前だけは知っていた
- ④ 何も知らなかった

問16 緊急地震速報には、震度5弱以上と予想した場合にテレビやラジオ等で一般の方々に伝える「警報」と、より小さい規模の地震からエレベーターや列車等の機械制御や専用端末向けに繰り返し発表する「予報」があります。

- ① 警報と予報の違いについて、発表基準も含めて知っていた
- ② 警報と予報があるのは知っていたが、発表基準は知らなかった
- ③ 警報と予報があるのは知らなかった
- ④ 何も知らなかった

【専用端末等の普及状況・ニーズ】

問17 現在、多種多様な緊急地震速報の関連機器等(受信用の専用端末や、これが速報を受

【調査票B】 平成 20 年 7 月 24 日岩手県沿岸北部の地震

信した時に自動的に作動する設備・機器等)が販売されていますが、貴機関において、
 (1)すでに購入済みのもの、(2)今後購入したいもの(検討中を含む)はありますか。

	(1)購入済み	(2)購入予定
① 緊急地震速報の受信・配信用の専用端末	有・無	有・無
② ①と連動してエレベーターを制御する装置	有・無	有・無
③ ①と連動して電気・ガス・水等を遮断する装置	有・無	有・無
④ ①と連動して館内放送等を行う設備	有・無	有・無
⑤ その他:[]	有・無	有・無

問 18 問 17 の各設備・機器等の購入価格・個数は、どのくらいですか。

	(1)購入済み	(2)購入予定
① 専用端末	[]万円×[]個	[]万円×[]個
② エレベーター制御	[]万円×[]個	[]万円×[]個
③ 緊急遮断装置	[]万円×[]個	[]万円×[]個
④ 館内放送等設備	[]万円×[]個	[]万円×[]個
⑤ その他	[]万円×[]個	[]万円×[]個

問 19 緊急地震速報について、期待、要望、感想等ございましたら、自由にお書き下さい。

◆よろしければ、この調査票にご記入された方の連絡先を以下にご記入下さい。(回答内容について補足的に確認させていただく必要がある場合に限って使用いたします。)

所属部署 : _____

氏 名 : _____

電話番号 : _____

E-mail : _____